

第14回北九州市外郭団体評価会議 開催概要

- 1 開催日時：令和3年1月28日（木） 10時00分～12時00分
- 2 開催場所：Web開催
- 3 出席者：明石座長、今泉氏、加藤氏、新川氏、能美氏、福地氏及び外郭団体所管課
- 4 議題：「令和3年度ミッション遂行票（活動計画）について」
- 5 議事要旨

議題1 令和3年度ミッション遂行票（活動計画）について

(1) (公財) アジア成長研究所

<構成員コメント>

- ・成果指標の継続性という観点から、これまで指標として定めていたものについても引続き確認していく必要がある。
- ・市に対する政策提言や調査結果が、どのように市政に取り入れられているのか。文献等で実際に引用された件数など、そうした結果を確認することも検討すべき。

<団体等コメント>

- ・来年度からの次期中期計画において、本市の活性化に向けたシンクタンク機能をさらに強化し「国際水準の知的基盤の強化」と「地域への知的貢献」という2本の柱のもと、より一層地域貢献に資する取組を行っていく予定。
- ・市の主要プロジェクト実現化の学術的側面からの支援や、国際政策推進に向けた調査研究及び地元経済団体・企業との連携による産業経済振興策への提言を目指す。

(2) (公財) 北九州市どうぶつ公園協会

<構成員コメント>

- ・今後は友の会も含めた寄付金の総額を指標としても良いのでは。
- ・他の動物園の成功事例を参考に、魅力発信を強化していただきたい。

<団体等コメント>

- ・動物サポーターや基金が減少しているが、友の会サポーターへの寄付が増加しているため、団体財務への影響は少ない。
- ・20周年に向けた新たな魅力づくりとして、「夜間運営など動物の見せ方の工夫」や、「遊具のリニューアル・新規導入」などに取り組んでいく。

(3) ひびき灘開発(株)

<構成員コメント>

- ・カーボンニュートラルの中で、廃棄物の量は今後も減少傾向が続くものとする。
そのため、今後は経営の継続という意味で「コスト」に着目した成果指標が必要なのではないかと。
- ・目標値を設定する際は、外部環境と市場予測の精度を振り返りながら、当初計画に囚われず柔軟に数値を変えていくべきではないかと。

<団体等コメント>

- ・指標に掲げている数値は、企業の動向などをヒアリング・情報交換を行いながら適切な目標値となるよう取り組んでいきたい。

(4) 北九州埠頭(株)

<構成員コメント>

- ・今年度の自主事業における目標数値は低く感じる。目標は高く設定し取り組んでもらいたい。
- ・他の施設、他の港湾施設への進出はぜひ今後積極的に行っていただきたい。

<団体等コメント>

- ・新型コロナウイルスの影響により、景気の低下、貨物動向の減少が進んでおり、総合的に判断した結果として目標値を定めている。
- ・感染防止対策を厳しく実施しながら、自主事業の売上増加に全力で取り組む。

(5) (公財) 北九州産業学術推進機構

<構成員コメント>

- ・コロナ禍において企業のデジタル化のニーズは着実に増えている。ロボットやAI等の研究開発支援はもとより、そういった企業のサポートに積極的に取り組んでいただきたい。

<団体等コメント>

- ・コロナ後の働き方・社会のあり方が変わっていく中で、企業にとってはデジタル化が大事だと考えている。ICT部門に強いFAISの強みを生かして、こうした企業の支援に来年度も積極的に取り組んでいきたい。